

全レベル 令和2年度 ラダー研修計画

特定医療法人共和会 共和病院 看護部

	月	日	テーマ	講師	内容	到達目標
集合研修	7	30	吸引	松崎あ	看護部基準手順書を元に手技、手順の確認を行う。	吸引の目的、適応、手技手順について理解できる。
	7	29	経管栄養	C1 中出	共和病院で使用されている経管栄養の物品を知り、手順の確認を行う。 シュミレーション人形を使って実際に演習を行う。	安全に経管栄養法が行える様、特に注意事項について実践できる。
	9	8	尿バルン挿入	感染委員	シュミレーターを使用した手順の確認と演習を行う	プライバシーを配慮した実践ができる。 清潔、不潔操作が理解でき、無菌操作の手技を確実に習得できる。
			筋肉・静脈注射	A3川邊A4小迫	筋肉注射と静脈注射の手技・手順を座学で学び、シュミレーターを使用して演習を行う	注射についての技術・手順を理解し習得できる
出張研修	9	14	排泄介助	介護技術委員	排泄ケアの基本と手順を座学で学ぶ。座学後にテーナ製品を使用して実技を行い復習する。	排泄ケアについての基本を身につける。患者様の排泄ケアであるオムツ交換の手順を始まりから終わりまで行えるように技術の習得。また、個別の排泄ケアについて知識を深める。
	9	17	移動介助	介護技術委員	移乗介助の基本を座学で学ぶ。座学後に実技も行うことで実践の練習も行う。	移乗介助についての基本を身につける。個人もしくは複数で患者様、職員ともに無理のない移乗介助が行える技術の習得。
	9	9	口腔ケア	介護技術委員	口腔ケアの基本と手順を座学で学ぶ。座学後に必要時は実技を行い復習する。また、口腔ケア製品のラウンドを行い、製品に関する知識を得る。	口腔ケアについての基本を身につける。個人で患者様の口腔ケアの手順を始まりから終わりまで行えるように技術の習得。
	1	28	フィジカルアセスメント	濱田	胸部の解剖、腹部の解剖、聴診、呼吸音の種類、腸蠕動音の種類、考えられる病態 転倒時の観察	基本的な観察ポイントや聴診の技術を身につける フィジカルアセスメントで重要なことや優先すべきことがわかる 患者の病態に応じて自分がすべき行動がわかる
	9	16	胃瘻造設介助	A5 川口	看護部基準手順書に準じて手順を解説	胃ろう造設介助の手順が理解できる
	3	29	縫合介助	鈴木	縫合の流れを知る、縫合介助の実際を学ぶ	縫合処置の流れを理解できる、縫合処置の一連の流れを理解できる
	3	11	ACLS	A3鈴木 C3日下	トリアージ総論～臨床救急看護診断学とキーワード～	トリアージの考え方を知る、トリアージの方法を知る、ACLS共和の活動を知ってもらう
集合研修	3	18	精神科系研修	丹羽	コロンビア、ハーバード大学式やる気の科学	モチベーションコントロール方法、習慣化方法について理解出来る
	10	15	内科系研修	A5 根間	解剖生理、誤嚥とは、摂食嚥下のメカニズム 現場でできるケア など	誤嚥性肺炎のメカニズムに関する知識をもとに、 食事支援・口腔ケア・ポジショニング等の誤嚥性肺炎ケアについて学ぶ
	9	24	レポートの書き方	松崎あ	基本的なレポートの書き方について	基本的なレポートの書き方を理解することが出来る。
	7	9	認知症	濱田	基礎知識編：認知症の病態、症状、認知機能障害に配慮したケア 対応編：認知症の人へのケアのポイント、BPSDへの対応、情報共有	認知症の病態や症状、世界観について知る。 認知機能障害やBPSDに配慮して、環境整備やケアを行うことができる。
	12	17	エンゼルケア	宮崎	基礎知識：エンゼルケアの基礎知識、手順 実技：人形を用いた、手技(実技)の演習	エンゼルケアを不安なく実施することができる

レベル1(初心者)・2(一人前)ラダー研修計画

月	日	テーマ	講師	内容	到達目標
6	4	感染	大前	院内での標準予防策を知る	標準予防策の理解と手技の習得ができる
11	12	記録	谷	看護記録の書き方の説明	(1)看護記録の書き方がわかる。 (2)看護計画と記録の連動の仕方がわかる (3)看護記録の必要性が理解できる
1	22	精神保健福祉法と行動制限	松崎穂、武田	精神保健福祉法について 入院形態、処遇、隔離、拘束について	精神保健福祉法について学ぶことで、患者との関わりに活かすことができる
6	18	プロセスレコード	加藤	・プロセスレコードを理解し、実際にプロセスレコードを書いてみる。書いた内容を病棟に持ち帰り、病棟スタッフと共有して、自身及び他のスタッフの看護、介護の振り返りを一緒に考える	プロセスレコードを理解して実際に書くことが出来、自分を振り返ることが出来る
		新人座談会	篠原		

レベル3(中堅)ラダー研修計画

月	日	テーマ	講師	内容	到達目標
6 7 11	16 7 10	ケーススタディ	A4 石川	学習した専門知識や技術を応用しながら看護実践を展開し、 ケースレポートの作成を通じて論理的思考を培う	第1、2回目: ケーススタディの意義や書き方を理解できる。 第3回目: 自己の看護を振り返り、レポート作成と発表会を通じて他者へ伝えることが出来る。
8	26	コーチングの基礎知識	伊藤	人材育成に必要なコーチングの基礎となる理論とティーチングとは異なるコーチング技法を学ぶ ・コーチングスキルについて ・ロールプレイを用いてコーチングスキルを演習する	コーチングの基礎が理解出来る 自ら演習することで、効果的なコーチングスキルを一つ以上覚える 実践を報告し、自分のスキル習得を確認できる 体験を共有し、自分のスキルに取り入れる
8	20	固定チームナーシング	安藤	1. チーム目標の共有 2. 継続性のある看護を推進していくための作戦会議	1. 各チーム目標を共有することで看護の質を高め合う 2. 継続看護を展開していくための計画が見出せる
		臨地実習指導者研修	松崎穂	・実習指導者の役割について ・実際に指導をしていて困ったこと、良かったことを意見交換をする	・実習指導者としての役割を再認識できる ・他の参加者の意見を聴くことで、自己の指導方法の振り返りにつながる

レベル4ラダー研修計画

月	日	テーマ	講師	内容	到達目標
		コンフリクトマネジメント	新美		
		問題解決技法	未定		

看護研究シリーズ研究計画

場所: シミュレーター室 15:00-16:00

月	日	テーマ	講師	内容	到達目標
5	12	看護研究のおもしろさ	令和元年度 発表者	令和元年度の研究発表者による体験談	参加者が研究に興味を湧く。
7	1	研究テーマの探し方 ～文献検索 基本編～	石川	・関心のあるテーマについてディスカッション ・医中誌WEBを用いた文献検索方法	文献を活用する目的と方法が理解できる。 研究テーマがより具体的になる。
7	28	研究テーマを絞ろう！ ～文献検索 実践編～	伊藤課長 石川	・研究全体の流れについて ・興味のあるテーマに関する文献を探す演習	研究計画書の書き方を理解することができる。
8	17	研究計画書をつくってみよう！	伊藤課長	・研究計画書の実例を見ながら試しに書く	研究計画書の書き方を理解することができる。
12	1	伝わるプレゼンテーションの基本 ※他部署の方も参加可	森田係長	・効果的なプレゼンの方法、パワポの作り方のコツを具体的に学	聴衆にわかりやすく、効果的なプレゼンの方法を理解できる
1	26	プレゼンテーションの演習	(助言者)森田係 長 看護部責任者	・発表者同士で発表を体験する	研究発表に向けて、プレゼンのスキルが上がる。